

ゆうかん
幽観

おうぎだに
扇谷

(松島町)



松島湾の入り江が扇を広げたように浮かんで見えることから幽観と称される。紅葉の名所でもある。

いかん
偉観

たもんざん
多聞山

(七ヶ浜町)



七ヶ浜町の北端・代ヶ崎の崖頭。太平洋から打ち寄せては砕け散る波が眺められ、その雄大さから偉観と称される。

れいかん
麗観

とみやま
富山

(松島町)



杉、松、縦の太木に覆われた静寂の中、島々を望むことができる。島々が整然と並んで見えることから麗観と称される。山頂には奥州三観音の一つである富山観音堂がある。

そうかん
壮観

おおたかもり
大高森

(東松島市)



東松島市宮戸島にある高峰で、山頂からは嵯峨溪と松島湾が望める。松島の形状を箱庭のように見られることから壮観と称される。

松島四大観

—まつしましだいかん—

東西南北から松島湾を望む展望地



塩釜
MAP

松島観光協会員



体験

こけしの絵付け体験

二八屋物産店 (松島直秀こけし)
☎022-354-3216
宮城県松島離宮
☎050-1808-0367

箸かまぼこ手作り体験

松島蒲鉾本舗【総本店】
☎022-354-4016

箸かまぼこ手焼き体験

阿部蒲鉾店【寺町小路店】
☎022-353-4277
松島蒲鉾本舗【総本店・門前店】
☎022-354-4016

松島観光協会員お宿一覧

市外局番 (022)

●日帰り入浴可能

●松島温泉

※日帰り入浴については、休憩日もございます。

松島町内

●パレス松洲
カースバイサイドリゾート松島
☎354-2106
☎353-8333

●ホテル絶景の館
☎354-3851

●ホテル大松荘
☎354-3601

●ホテル松島大観荘
☎354-5214

●松島一の坊
☎0570-05-0240

まつしま香村
☎354-4361

●松島佐勘松庵
☎354-3111

●松島センチュリーホテル
☎354-4111

●松島プチホテルびすとろアパロン
☎354-5777

●松ぼっくりの宿 翠松亭
☎354-3221

●湯ノ原温泉元湯温泉亭
☎354-2323

旅館もと美荘
☎354-3511

●利府町・大和町

●ホテル浦嶋荘 (利府町)
了美 Vine yard & winery (大和町)
☎366-2131
☎725-2106

日帰り入浴専門施設 (松島町内)

●芭蕉の湯
☎353-8155

展望地から眺める松島

さいぎやうもと
西行戻しの松公園からの眺望



西行法師が諸国行脚の折、松の太木の下で会った童子と禅問答をして敗れ、身を恥じ松島行きを断念し引き返したことが由来。桜の名所で、展望台からは桜と松島湾の景色が一体となった、他に類をみない花見が味わえる。

そうかんざん
双観山からの眺望



塩釜湾と松島湾の島々を間近にかつ立体的に一望できる。遠く金華山沖からのぼる朝日はまさに荘厳。紅葉の隠れた名所 (11月中旬～下旬見頃)

おしじま
雄島からの眺望



「松島」の地名発祥地。絶好の散策コース。中世より「奥州の高野」として僧侶や巡礼者の修行の場となっており、仏像、法名などが彫られた岩窟や板碑も多く見られる。また、芭蕉を含めた多くの句碑も見逃せない。

しんどうみやま
新富山からの眺望



徒歩で行ける手近な展望地で、脚下に海岸の家並みを越して松島湾内を見渡せる格好の場所として人気が高い。敷地には、英国詩人エドモンド・ランデンの詩碑がある。

おすすめモデルコース

日本三景松島とびっきりの縁結びコース

渡月橋 (悪縁を絶つ縁切り橋)

▶徒歩15分▶

福浦橋 (出会い橋)

▶徒歩7分▶

五大堂 (縁結び橋)

▶徒歩7分▶

円通院

悪縁を絶って、「松島」の地名発祥説のある雄島をご覧ください。

福浦島にかかる約250mの朱塗りの橋を渡ると良縁に出会うといわれます。

五大堂にかかる透かし橋は縁結び橋ともいわれます。

愛があふれるお寺。縁を育む数珠づくり体験や縁結び観音で恋愛運UP。

一般社団法人 松島観光協会

宮城県松島町松島字町内98-1 ☎022-354-2618

宮城県松島町産業観光課 ☎022-354-5708



観光協会HP

グルメ情報はこちら→





R8.3

重要文化財



藤田喬平ガラス美術館

A long, brightly lit corridor with blue walls and ceiling, leading to a bright light at the end. The floor is highly reflective, mirroring the lights and the blue color of the walls. The perspective is from the end of the corridor, looking down its length.